

# 記念事業の大綱

[平成 23 年度～平成 27 年度]

## 1. 記念式典行事関係

- |               |                        |                        |
|---------------|------------------------|------------------------|
| (1) 記念式典      | <平成 24 年 5 月 26 日 (土)> | 10 時～ 12 時<br>熊本県立劇場   |
| (2) 記念祝賀会     | <平成 24 年 5 月 26 日 (土)> | 19 時～ 21 時<br>ホテルキャッスル |
| (3) ホームカミングデー | <平成 24 年 5 月 26 日 (土)> | 9 時～ 17 時<br>大学・熊本県立劇場 |
|               | <平成 24 年 5 月 27 日 (日)> | 10 時～ 16 時<br>大学       |

## (4) その他の事業

①70 周年記念ロゴマーク作成

②記念出版 論考誌『熊々論々(ゆうゆうろんろん)』発行

<平成 23 年 10 月創刊号発刊>

『近代熊本の巨人—阿部野利恭・高橋守雄先生伝』出版

<平成 24 年 3 月 31 日発行>

## 2. 教育研究充実関係

—教育力の充実・活性化—

### (1) 教育組織の改編について

①学部・学科・大学院の組織改編など

平成 26 年 4 月より経済学部 2 学科へ改編

### (2) 教育助成について

①奨学金の充実 (大学、高校、中学)

②留学生への支援

③課外活動支援

### (3) 教育改革について

①基礎学力の充実

②新教養教育の展開

③国際教育・生涯教育の推進など

## 3. 施設整備関係

①高等学校本館建て替え

②安全・安心な校舎の整備 (耐震工事等) や時代の

ニーズに対応した設備の充実 (4 号館改修工事等)

③幼稚園舎の建て替え (平成 23 年度完成済)

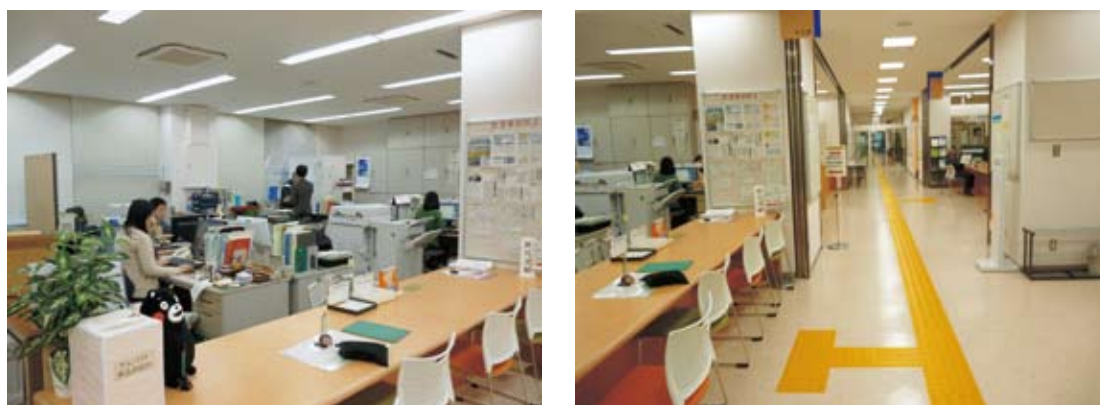
## < 施設概要 >

### 1. 附属高等学校本館（仮称）完成予想図

（平成 27 年 3 月完成予定）



### 2. 大学 4 号館等の耐震対策工事



改修後・明るく使い易くなった 4 号館（平成 25 年度事業）

### 3. 附属敬愛幼稚園（平成 24 年 3 月完成）



## < 追 記 >

### 70 周年記念事業大綱の一部見直しについて

本学園では、先に 70 周年記念事業を策定し、募金のお願いをしているところでありますが、国や県の教育行政が、特に東日本大震災以降「耐震対策」を重点政策のひとつに掲げており、今まで対象にならなかった私立学校の改築も補助金の対象となるなど変化してきています。しかも、補助金を利用するには、平成 27 年度までに耐震の対策を実施することが必要とされ、それ以降になれば、対応が遅くなっている学校法人は公表し、改善命令が出される等、法律上の規制が強化されてきています。(平成 25 年 11 月 25 日施行一建築物の耐震改修の促進に関する法律の一部を改正する法律について等)

耐震対策は、学生の安全・安心の観点から喫緊の課題であることは言うまでもありません。本学園も、改築あるいは耐震補強工事のいずれかの方法で早急な対策が必要との認識ではありますが、いずれにしても高額な対策費用が必要なため、本学園ではやや長期間に亘って改築する方向で対応することとしていました。しかし、この耐震対策事業は、本来、早急に対策を終了することが重要であり、最近の文部行政の変化から考えましても、補助金制度を本学園事業に十分生かせるよう対応し、短期的に解決する意義は大きいかと判断しています。

今後は、70 周年記念事業の期間を平成 27 年度までとし、内容も一部見直して、大学関連施設は、当面耐震補強工事に対応しながら、新館建設については優先順位を変更して検討することにいたしました。従いまして、当初大学の事業計画にありました 15 号館(70 周年記念棟)と新アリーナ建設は当面延期せざるを得なくなりました。また、平成 26 年度から、本学付属中学から本学付属高校への進学問題や現在使用しているプレハブ教室問題などで教室不足問題も発生することなどから、平成 28 年度以降に予定していた高校本館建設を大学の新館に先行させることがより肝要であると判断いたしております。

以上のようなことから、特に、平成 27 年度までの主要事業として

I. 「教育力の充実・活性化」への取り組み

II. 付属高校本館の建て替え

III. 安全・安心を確保するための校舎整備や時代のニーズに対応した設備の充実(大学の通信・施設・設備・耐震工事など)

を推進してまいります。

これには、徹底した経費削減を図り、健全な財政基盤の構築に努めてまいります。関係の皆様方からも変わらぬお力添えを是非お願いしたく、募金事業を継続して実施させて頂くことに致しました。関係各位の皆様方には、今までにも増してのご理解とご支援、ご協力の程を切にお願い申し上げます。よろしくお願い致します。

なお、70 周年記念事業計画の実施につきましては、理事会・評議員会等の手続を経て、慎重に推進してまいりますのでご理解の程よろしくお願い致します。

以 上